

『介護・看護の臨床に生かす 知っておきたい心のしくみ 発達とコミュニケーションの心理学』

岡林春雄 著

本書では、心のしくみを発達とコミュニケーションからとらえてみたいと思います。自分自身と向き合う際、他者と接する際、発達とコミュニケーションからなる心のしくみを理解し、気づきに役立ててもらえれば幸いです。(はじめにより)

定価 2625 円 (本体 2500 円 + 税 5%)

金子書房 電話 03-3941-0113



『へてるの家の先駆者たち 苦勞を大切に生きる生き方』

大澤榮 編著

この本を通じて、「弱さを絆に」というべてるの苦勞を大切に生きる生き方の大事な“水脈”である佐々木実さん、早坂潔さんの「遭われた者」としての歩みが明らかにされることは、べてるの「語ること」を大切にしてきた歴史にとって大切な一ページとなることでしょう。(序より)

定価 1050 円 (本体 1000 円 + 税 5%)

いのちのことば社 電話 03-5341-6922



『発達障害の人の 就労支援ハンドブック 自閉症スペクトラムを中心に』

梅永雄二 編著

発達障害の人の就労支援を考える際、彼らが自分の適性や能力を踏まえて企業と関わっていくことはなかなか難しい状況です。支援者には仕事を求める発達障害の人と優秀な労働者を求める企業とをうまくコーディネートしていく通訳者としての役割が必要になるのです。(帯より)

定価 1995 円 (本体 1900 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



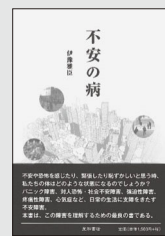
『不安の病』

伊豫雅臣 著

不安や恐怖を感じたり、緊張したり恥ずかしいと思う時、私たちの体はどのような状態になるのでしょうか？ パニック障害、対人恐怖・社会不安障害、強迫性障害、疼痛性障害、心気症など日常生活に支障をきたす不安障害。この障害を理解するための最良の書である。(帯より)

定価 1575 円 (本体 1500 円 + 税 5%)

星和書店 電話 03-3329-0031



『自分でできる認知行動療法 うつと不安の克服法』

清水栄司 著

うつや不安に悩む人のために、その治療に極めて効果的な認知行動療法を自分一人で行うことができるよう作成された、全く新しいセルフヘルプのワークブック。チェックリストや専門的な用語をわかりやすく解説することで、12 週間のチャレンジを長続きさせます。(紹介文より)

定価 1995 円 (本体 1900 円 + 税 5%)

星和書店 電話 03-3329-0031



『研修医のための精神医学入門 第2版』

石井毅・栗田広 著

すべての研修医、精神科臨床を志す方を対象に、精神科領域の基礎的内容をわかりやすく解説した携帯版学習書。携帯版ながら、社会復帰や支援体制の現状なども網羅。注目を集める発達障害の項目も大幅追加し、授業や臨床現場でさらに役立つ内容となっている。(紹介文より)

定価 1365 円 (本体 1300 円 + 税 5%)

星和書店 電話 03-3329-0031



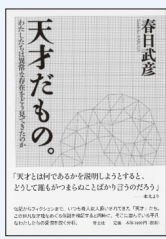
『天才だもの。 わたしたちは異常な存在をどう見てきたのか』

春日武彦 著

伝記からフィクションまで、いつも奇人変人扱いされてきた「天才」たち。この非凡な才能をめぐる俗説を検証すると同時に、そこに潜んでいる平凡なわたしたちの愛憎を鋭く分析。(帯より)

定価 1680 円 (本体 1600 円 + 税 5%)

青土社 電話 03-3291-9831



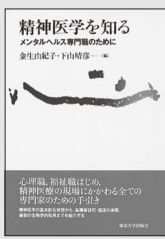
『精神医学を知る メンタルヘルス専門職のために』

金生由紀子・下山晴彦 著

心理職、福祉職はじめ、精神医療の現場にかかわる全ての専門家のための手引き。様々な立場や視点からメンタルヘルスにかかわる人たちが精神医学のエッセンスを体感して、必要に応じてさらに勉強しようと思えるきっかけになればとの思いを込め、副読本を目指した。(第1章より)

定価 3360 円 (本体 3200 円 + 税 5%)

東京大学出版会 電話 03-3811-8814



『山上敏子の行動療法講義 with 東大・下山研究室』

山上敏子・下山晴彦 著

行動療法は、それだけでは理論と方法の単なるシステムにすぎないもので、面白くもなんともない。しかし、これらの考え方も方法も、いったん臨床現場に入り臨床の価値に添うと、自由に動きだして治療や援助の実になり、臨床の豊かな方法になってくるのである。(おわりにより)

定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



『うつ病治療ハンドブック 診療のコツ』

大野裕 編

日常臨床でうつ病の治療に難渋したときに役に立つコンパクトな書籍を作ることができればと考えて企画したのが本書である。苦しんでいる患者さんを目の前にして治療方針を立てるときに、エビデンスに基づいて考えることができれば、それに越したことはない。(序文より)

定価 4830 円 (本体 4600 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



編集部へ書籍をお送りください。当コーナーで紹介させていただきます。

編集部へ届いた本

『アクションとしての自傷 「故意に自分の健康を害する」行動の精神病理』

松本俊彦 著

著者は、自傷に関する豊富な臨床経験と研究知見にもとづいて、従来、演技的・操作的行動とされてきた自傷概念を否定し、自傷に対して積極的に介入することの重要性を主張する。本書は、多くの援助者に自傷と向き合う勇気を与えてくれるだろう。(帯より)

定価 2730 円 (本体 2600 円 + 税 5%)

星和書店 電話 03-3329-0031



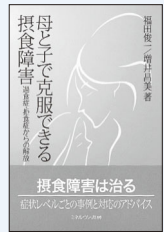
『母と子で克服できる摂食障害 過食症・拒食症からの解放』

福田俊一・増井昌美 著

長年にわたり摂食障害の治療に携わる2人の著者が、その背景にある「母娘関係」の再生に焦点を当て、また症状レベルごとの事例とアドバイスをまとめている。たとえ発症から長い年月が経っていても、「治る道はある」ことを伝える、家族と本人へのアドバイスの書。(紹介文より)

定価 2520 円 (本体 2400 円 + 税 5%)

ミネルヴァ書房 電話 075-581-0661



『短期精神療法の理論と実際』

Mantosh J. Dewan, Brett N. Steenbarger, Roger P. Greenberg 編著

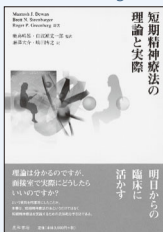
鹿島晴雄・白波瀬文一郎 監訳

藤澤大介・嶋田博之 訳

理論は分かるのですが、面接室で実際にどうしたいのか? という質問を何度耳にしたことか。本書は、明日からの臨床に活かす、6つの短期療法を学ぶ具体的な手引きである。(帯より)

定価 3675 円 (本体 3500 円 + 税 5%)

星和書店 電話 03-3329-0031



『土屋流 「当事者主体」的アプローチ』

土屋徹 著

本書は、「専門家が当事者をどう支援していくか?」という視点ではなく、「当事者の力/ストレングスはいかにして発見され、伸びていくものなのだろうか?」をテーマに、著者がこれまでの体験・活動からその答えを導き出していく、当事者主体の本です。(紹介文より)

定価 1785 円 (本体 1700 円 + 税 5%)

精神看護出版 電話 03-5715-3545



『抗精神病薬をシンプルに使いこなすための EXERCISE』

長嶺敬彦 著

抗精神病薬は劇薬です。だから使うときに訓練が必要です。本書を EXERCISE 形式にしたのはそのためです。みえない脳内の病態を予測して、抗精神病薬を適切に使用し、多くの患者さんが回復されることを祈っています。(おわりにより)

定価 3150 円 (本体 3000 円 + 税 5%)

新興医学出版社 電話 03-3816-2853



『対人援助職のための 認知・行動療法 マニュアルから抜け出したい臨床家の道具箱』

原井宏明 著

この本で残そうとしたことは、クリティカル・シンキングという習慣である。本書は、著者が臨床現場からフィードバックしたものであり、脱・マニュアルを目指す対人専門職のための恰好の手引き書となるであろう。(帯より)

定価 3675 円 (本体 3500 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



『コンボ先生教育談義 ココ・カラ主義で減らす 統合失調症治療薬の副作用』

長嶺敬彦 著

抗精神病薬は優れた効果を示します。しかし力ずくで使用すると、必ず副作用が出ます。この本は会話調で書いてありますが、それは力を抜いて読んでもらうためです。リラックスして、楽しみながら、抗精神病薬の副作用を回避する知恵と一緒に学びましょう。(はじめにより)

定価 1470 円 (本体 1400 円 + 税 5%)

NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ 電話 047-320-3870



『SST テクニカルマスター リーダーのためのトレーニングワークブック』

触松克代 監修 小山徹平 編集代表

本書は、従来の本と異なり、正解を得られる本ではないかもしれません。しかし、日々現場で SST を実践されている方々が、使いながら考えられるワークブックとしてご活用いただけるような本を目指したつもりです。(あとがきより)

定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



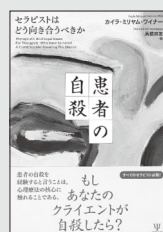
『患者の自殺 セラピストはどう向き合うべきか』

カイル・ミリヤム・ワイナー 著 高橋祥友 訳

セラピストには二種類ある。すなわち、患者に自殺されたセラピストと、これから自殺されるセラピストである。患者の自殺を経験するということは、心理療法の核心に触れることである。もし、あなたのクライアントが自殺したら? (帯より)

定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税 5%)

金剛出版 電話 03-3815-6661



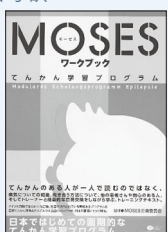
『MOSES ワークブック てんかん学習プログラム』

MOSES 企画委員会 監修 井上有史・西村拓司 訳

てんかんのある人が一人で読むのではなく、病気についての知識、向き合う方法について、他の患者さんや関心のある人、そしてトレーナーとの能動的な意見交換をしながら学ぶ、トレーニングテキスト。(帯より)

定価 2100 円 (本体 2000 円 + 税 5%)

クリエイツかもがわ 電話 075-661-5741



編集部へ届いた本

『境界性パーソナリティ障害＝BPD』

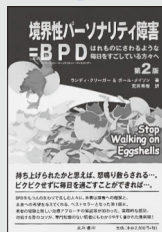
はれものにさわるような毎日をすごしている方々へ 第2版』

ランディ・クリーガー & ポール・メイソン 著
荒井秀樹 訳

ベストセラーとなった第1版に、著者の経験と新しい治療アプローチの解説等が加わった。実践的な援助、対処する際のコツが、専門知識のない読者にもわかりやすく書かれた最新版！（帯より）

定価 2940 円（本体 2800 円＋税 5%）

星和書店 電話 03-3329-0031



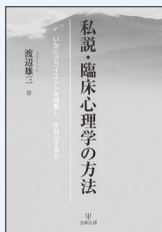
『私説・臨床心理学の方法 いかにクライアントを理解し、手助けするか』

渡辺雄三 著

精神科病院と開業心理臨床オフィスの2つの現場で長年にわたり心理療法を実践してきた著者の臨床家人生の集大成。理解・見立ての方法と心理療法の方法についての実際の、臨床的な説明とともに、学問的な方法論や臨床心理士の専門性について示唆に富んだ思索を展開する。（紹介文より）

定価 6090 円（本体 5800 円＋税 5%）

金剛出版 電話 03-3815-6661



『子どものソーシャルスキルとピアサポート 教師のためのインクルージョン・ガイドブック』

レイチェル・ジャネイ & マーサ・E・スネル 著
高野久美子、涌井恵 監訳

本書で実践されるインクルージョン（包み込む）とは、排除しない教育のことである。障碍のある子どもと普通の子どもの間に友達関係や支え合う関係を育むために、教師は何ができるのか。（帯より）

定価 2940 円（本体 2800 円＋税 5%）

金剛出版 電話 03-3815-6661



『「うつ」がいつまでも続くのは、なぜ？ 双極II型障害と軽微双極性障害を学ぶ』

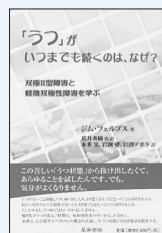
ジム・フェルプス 著 荒井秀樹 監訳

本多篤、岩瀬愛、岩瀬デボラ 訳

うつが長いこと持続したり、繰り返したり、より悪くなる、などということはありませんか。抗うつ薬をのんでも効果がないとかより悪くなるということはありますか。もしかすると、うつ病ではないのかもしれない。（帯より）

定価 2520 円（本体 2400 円＋税 5%）

星和書店 電話 03-3329-0031



『ケア会議で学ぶ 精神保健ケアマネジメント』

野中猛 著

精神保健の専門家ではないが、精神的に困難のある人を支援しようとする立場の方々に向け、可能な限りわかりやすく、しかし中身については妥協せず、実務が展開できるよう著した。精神保健の専門家にとっても、他職種と連携協働する際の技術が学べると思う。（あとがきより）

定価 2730 円（本体 2600 円＋税 5%）

中央法規 電話 03-3379-3784

